

キックオフ
News

富田林市議会議員

VOL.14

なんざい 哲平

発行元 とんだばやし未来議員団
 住所 〒584-8511 富田林市常盤町1-1
 TEL 0721-25-1000(内線 231)
 FAX 0721-25-9005
 H.P.

災害時に子どもたちの命を守るために！！

大規模な被害の恐れがあるときには前日に休校の措置を決定すべきでは？

- 昨年9月の台風21号接近時には、JRや私鉄各社が前日のうちに翌日の10時以降の運休を決定し、多くの企業や百貨店も翌日の休業を前日には決定。
- 本市においては、台風の直撃の恐れのある日の前日14時に災害対策本部の事前調整会議が開かれ、その中で翌日の9時には各小学校を含む市内19カ所の避難所を開設する方針が決定。

—— 以上の背景をもとに次の点を聞きました。

なぜ休校を前日に決定できなかったのか。また、今後同様のケースが起こればと想定し、その対応はいかに考えているのか

Q 質問 今回の台風21号のケースでは、堺市や河内長野市などは前日に休校を決定しており、それは子どもの命を守るためには賢明な判断であったと考えます。また休校措置をとる場合、各家庭の保護者の皆さんにとっては、できる限り早くその情報がわかるほうがその後の対応が非常にとりやすくなるのではないかと考えられます。



また、今回の場合は前日の時点で**各小学校を含む19カ所の避難所を午前9時に開設するという方針が決定されていた**わけですから、混乱を未然に防止するためにも前日に休校措置を決めることが必要であったのではないかと考えます。そのことから休校判断が遅くなったことの原因を聞くとともに、今後の対応を聞きました。



また、今回の場合は前日の時点で**各小学校を含む19カ所の避難**

所を午前9時に開設するという方針が決定されていたわけですから、混乱を未然に防止するためにも前日に休校措置を決めることが必要であったのではないかと考えます。そのことから休校判断が遅くなったことの原因を聞くとともに、今後の対応を聞きました。

A 市の答え 今回の台風21号の接近に伴う対応につきましては、各学校がこの取り決めに基づいて対応を決定いたしましたことから、臨時休校とする判断が当日の朝になりました。

しかしながら、今後は、今回のように大きな被害が予想される場合にありましては、**子どもたちの安全を最優先に考え、市の災害対策本部や校長会と連携し、早期に臨時休校を決定する**ことを検討してまいります。



○市議として2期目の任期を務めさせて頂くようになってから4年が経過しようとしております。

○私が政治の道に携わるきっかけとなったのは吉村よしみ前府議会議員の元で秘書として務めさせて頂いたのが始まりでした。

○8年の歳月を務めさせて頂いた間、議員持ち前の行動力や発想力、そして人に寄り添い想う気持ちに大きな影響を受け、私も富田林市の発展や、市民生活の向上、そして生まれ育ったこのふるさとを「誰もが誇れるまち」にするための自分なりの考えを自然と持つようになりました。

○その様な頃、大西つよし元市議からバトンを引き継がないかとの身に余るお言葉を頂戴し、初めての市議選に挑んだのが8年前。

○秘書としての8年間、